

報告第7号

令和3年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告について

令和3年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書を別紙のとおり作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により報告する。

令和4年9月2日提出

里庄町長 加藤 泰久

令和3年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書

令和4年9月

里庄町教育委員会

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）により、全ての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならないことになっております。

本報告書は、地教行法第26条に基づき、令和3年度の点検及び評価を行い、報告するものです。

### 〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検及び評価の方法等

### 1 対象

令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

### 2 報告

令和4年9月2日 議会に提出

### 3 公表

教育委員会事務局での閲覧

町役場の掲示場に掲示及び町ホームページでの公開

## III 点検及び評価

### 1 教育委員会の組織・活動

#### （1）会議の運営等

教育委員会議は、定例会を毎月1回（令和3年度：計12回）開催し、必要に応じて臨時会（令和3年度：計4回）を開催しました。（※資料1）全員が出席し（定例第1回・第8回・臨時第2回・第4回を除く）十分な時間を掛けて審議及び協議を行い、充実した運営と

なっています。令和3年度臨時会については、令和3年成人式記念式典の開催について、教育長の再任、教育長職務代理者の就任などの協議を行っております。審議を深めるための工夫として、事前に事務局に議案書及び関係資料を提出させるよう努め、今後も引き続き改善したいと考えています。

町長とは、総合教育会議（10月・2月）や諸行事で会う機会を通じて、「町立学校におけるGIGA端末活用状況について」「要保護児童の現状について」「里庄3ションプログラムの現状について」「長期欠席・不登校の現状と対応について」を議題として、意見交換や協議、支援の要請などを行い、連携を強化することに努力してまいりました。今後も町当局との連携を図り、一貫した教育行政を進めることが、重要と考えています。教育委員と町長との懇談や意見交換は、両者の円滑な連携と一貫性を図るために重要であると考えており、今後も引き続き実施したいと考えております。

事務局の職員体制については、令和2年度から、学芸員を町費で配置し、文化財などに関する専門性を高め、文化財保護委員と連携することで体制の整備を図りました。学校教育について、学校の指導支援を行う県費派遣の指導主事を継続して配置しています。また、地域と子どもたちを結ぶ教育コーディネーターも継続して町費で配置し学校教育・社会教育の両面にわたり、専門性を高める取り組みを行っております。今後も、事務分掌の見直し等を図りながら効果的な体制の整備を図る必要があります。

地域の実情に応じた施策及び地域住民の意向を施策に反映することについては、各校の学校運営協議会の意見や、本年度も、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため開催はできませんでしたが、学校・園の「現状」を広く地域住民の方々に知っていただくため、「一日学校公開」において、来場の際に頂くアンケートや、「教育を考えるつどい」での意見等も参考にして施策に生かすように努めています。コロナ禍において、学校教育及び社会教育の両面で工夫や努力が今後一層求められるようになっており、今後も鋭意検討を続けたいと考えております。

教育委員の研修は、本年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、岡山市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会が中止となりました。今後も委員としての識見の向上と、当町の幼児・児童・生徒の学力向上対策や豊かな成長が推進されるよう、努力してまいります。先進地の学校訪問等を通して、具体的な取り組みを研修することを目的とした県外視察研修につきましても新型コロナウイルス感染症の影響により中止といたしました。（※資料2）

それ以外にも、教育長、指導主事等が定期的に学校や社会教育関係施設の訪問を限られた時間の中で実施し、現状把握を行ったうえで、業務の見直しや施設の改善を提案しました。

学校（園）の行事や教育委員会主催の行事にも積極的に参加し、実情を理解しました。しかしながら、本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校（園）行事の中止や縮小、教育委員会主催の行事についても、中止・縮小により参加行事が大幅に減少しました。

（※資料3）また、学校の現状把握のために、毎年実施している学校訪問についても、昨年度から2年連続で実施を中止し、各校（園）の抱える課題については、各学校（園）長からの定期的な報告をいただきながら、教育委員の見解を聴取したうえで、教育委員会の審議及び

協議に役立て、可能な限り学校(園)の支援を行いました。

## (2) 公開性

教育委員会が、町民にとって身近なものとなるよう、可能な限り情報を公開する方針のもとで、定例会の開催予定及び議事内容を町ホームページに掲載しています。議事内容については、プライバシーや個人情報等で配慮を要する事項も多々あり、今後も内容の公開につきましては、慎重に進めて行きたいと考えております。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、町主催の分館長会議が開催されませんでした。日頃から、町民の方々からの教育行政等についての意見や要望等をお聞きして教育委員会で検討いたしました。公聴活動は、町民の意志を反映した教育行政を推進するために大切なことですので、今後も町民の方々からの意見や要望等をしっかりお聞きし、また教育行政施策の広報について、今後も積極的に行いたいと考えております。

また、教育委員会及び学校・園の取組を紹介した「里ちゃんだより」(※資料4)を年3回発行し、町内全戸へ配付しました。

## 2 教育委員会が管理執行する事務

### (1) 基本的・総務的事務

教育行政重点施策(※資料5)の策定など基本方針の多くは、事務局に原案や資料を提出させ、教育委員会として慎重に審議することができています。

教育関係予算については、各校(園)等の要望を聞き、教育長等が町長へ要求し、教育委員会としての意見を尊重した議案が議会へ提出されるよう努めています。

従来から当町の教育予算の比率は高く、教育が重要視されています。教育予算編成の話し合いにもっと時間をかけ、里庄町の教育がより充実するようにしたいと考えています。

### (2) 人的管理に属する事務

町立小中学校の校長等の任免について県教育委員会に対して内申を行っていますが、今後も慎重に行っていきたいと考えています。文化財保護委員等各種委員の委嘱または任免は、教育委員会で議決しています。人的管理に属する事務については、県教育委員会及び町長部局との連携をより密にしていこう努めてまいります。

学校関係職員の研修は計画的・効果的に実施され成果が上がっています。事務局職員の研修は日々の研修と県教育委員会や町長部局に委ねている研修があり、今後も充実させていく必要があります。

また今年度も、外部人材の活用や支援員等の配置、中学校における部活動休養日の設定、夏季休業中(8月10日～13日)及び冬季休業中(12月27日～1月5日)の学校完全閉庁期間を設定、幼稚園・小中学校への「自動音声対応電話の導入」の定着など、学校現場における働き方改革に向けて、具体的な取り組みを実施しました。

新型コロナウイルス感染症は、学校教育において本年度も影響がありました。令和4年2

月24日から2月25日まで、中学校の学年臨時休業。3月2日から3月4日まで西小学校の学校臨時休業を実施しました。運動会や修学旅行、学芸会などの学校行事についても、中止や規模の縮小、開催内容の変更など、昨年度に引き続いて、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みました。

また、今まで行ってきた行事や活動について「本当に実施しなければならないのか?」「活動の狙いは何なのか?」などを、引き続き検討しながら行ってまいりました。

コロナ禍において、東西小学校放課後児童クラブ、幼稚園預かり保育の支援員や学校教職員、生活支援員や教育委員会が、子どもたちの居場所づくりや心のケアに、一丸となって努めた1年間となりました。

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

#### (1) 学校教育

新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度に引き続き各学校園では最大の配慮を行い、新しい学校生活様式への転換を図りながら取り組んでまいりました。マスクの着用、手指消毒、家庭での検温、室内換気の徹底、水泳授業の中止、一定方向を向き黙って食べる「黙食」の実施など、教職員・園児・児童・生徒・学校関係者が取り組みました。日々変化する新型コロナウイルス感染症の感染状況を見守りながら、今後も取り組んでまいります。

小・中学校の全国学力・学力状況調査の結果は、概ね全国平均のレベルにあります。町としての学力向上の方針を示し、各学校も学校としての学力向上策を定めて鋭意努力しています。

教育委員会としても、学力向上を図るためソフト面やハード面の予算を措置いたしました。コロナ禍において、町内の幼稚園、小中学校の教育職員等を対象とした教職員研修はできませんでしたが、各学校園とも、校長を中心として情報の共有を図りました。

いじめ・不登校の解消に向けては、引き続き町をあげて重点的に取り組みましたが、登校できにくい児童・生徒が複数名います。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、浅口市にある「浅口大簡塾（適応指導教室）」を、浅口市と協定を結び利用可能にしています。浅口大簡塾に通うことで、学校復帰を果たした生徒もおります。今後も継続して解消を目指して取り組んでまいります。

特別支援教育については、特別支援学級・通常学級において指導の充実を図っています。具体的には、町の教育相談員が学校の要請により学校を訪問し、具体的な指導方法について支援しています。また、生活支援員を対象に特別支援教育の理解を目的として、研修会を年間2回実施しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修は中止といたしましたが、教育相談員の作成した研修資料を配付するなど、日頃の相談の充実に努めました。

小学校の通常学級に在籍している発達障害のある児童は、日常生活での様々な場面で困難さを感じています。その解消のため、児童が在籍している小学校での指導を行うとともに浅口市立六条院小学校内にある「あすなる教室」を、浅口市と協定を結び利用可能にするこ

とで、一人ひとりの児童に応じた個別の支援が受けられるようにしています。そうすることで学習の不安や友達関係やコミュニケーション面の不安を解消し、感情のコントロールの仕方等を身につけていきます。

少子化の進行などを背景に、子どもの育ちが大きく変化しており、様々な要因から小学校の生活になじめないことも見受けられます。里庄町では、保幼小接続スタンダードを作成し保育園、幼稚園、小学校が歩調を合わせ、幼児教育と小学校教育を円滑に接続し、子どもの育ちと学びを滑らかにつなげる努力をしています。

さらに、保幼小中のそれぞれの卒業期の姿を設定することで、就学前から中学校卒業までの11年間を見通した保育・教育が行えるようにしています。各卒業期の子どもの姿や、徳知体の各分野で付きたい力を明確にし、里庄町各園校の卒業期における「めざす子どもの姿」を設定しています。このことにより、幼稚園の先生が中学校の子どもの姿を意識して保育するなど、子どもの育ちの連続性を意識した保育・教育が行えるようになっていきます。

子どもたちがこれからの時代を生きていく上で、自分で主体的・自律的にキャリアを切り拓いていくための能力の獲得・向上が必要になります。この力は非認知能力と呼ばれています。岡山大学の中山准教授の指導を仰ぎながら、各学校で非認知能力を高める取り組みを行いました。具体的には、「自分を高める力（意欲・向上心・自尊感情・楽観性等）」「自分と向き合う力（自制心・忍耐力・レジリエンス等）」「他者と向き合う力（共感性・協調性・コミュニケーション力等）」を高めるために「里庄3ションプログラム」を導入しています。年間2回のアンケートを実施し、実態に即した活動ができるようにしています。取り組みは2年目を迎え、各校は実態に応じて創意工夫をし、学校行事や授業に関連させた活動に広がりを見せています。効果として、児童生徒が穏やかに学校生活を送れるようになり、意欲の向上や子ども同士の関係性の向上、自主性も見られるようになってきています。

子どもたちが安心して学習や学校生活を送れるように、幼稚園、小・中学校に生活支援員を配置しています。東小学校7人・西小学校に9人、中学校3人、そして東幼稚園3人、西幼稚園に2人で、落ち着いた学習環境が確保され、十分な成果を上げています。また、小学校から中学校1年生への進級にあたり中1ギャップを解消するため、小中連携支援員を2人、引き続き配置しました。

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間する中で、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少など、生活習慣の乱れも指摘されています。令和4年2月現在、小学校4年生～6年生の34%、中学校1年生～3年生の83%の児童・生徒が自分のスマホや携帯電話を所持しています。里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。子どもを守るのは、社会の大人全体の責任であり、とりわけ、子どもの一番身近にいる保護者の行動が大変重要です。そこで、統一ルールと合わせて、家庭内のルール作りを子どもと共に進めるよう、各家庭での取り組みの徹底をお願いしています。

GIGA スクール構想の本格実施に伴い、里庄町の小中学校では、1人1台端末の導入を行いました。今年度は、まず、先生方と児童・生徒が端末の操作に慣れることを目標に活用を進めました。実際には、児童・生徒に各教科等で必要とされる資質・能力を身につけるため、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」の3つの場面での活用を行いました。特に「一斉学習」「個別学習」で活用が進み、学習内容への関心や理解が深まったり、個人の理解度や習熟度・ペースに応じた学習を進めたりすることができました。「協働学習」での活用は、児童生徒の主体的・対話的な学習に効果的であったり、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション力の向上に有効な手立てであったりすることから、来年度も引き続き研究を重ねていきます。

子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上に努め、グローバルな人材の育成を目的とした英語指導助手については、令和元年度から自治体国際化協会による、語学指導等を行う外国青年招致事業「JETプログラム」から2名の派遣をいただき、従来の民間派遣の1名と併せて3名の体制で授業を行いました。

里庄町では、学校給食は子どもたちの体や心を育てるのに重要なものであり、食事は人づくりの上でとても大切なこととして、学校給食に力を入れてきています。自校給食を実施し本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、食堂での給食は実施していませんが、コロナが収束すれば、小学校ではできたての給食をファミリー形態で食べる取り組みに戻します。

小・中学校の耐震化・大規模改修工事は平成19年度末で完了しており、平成28年度には小・中学校の屋根防水工事を、平成29年度には小・中学校の教室への空調設置工事の設計を行い、平成30年度には、小中学校施設空調整備工事を実施し、普通教室、特別教室等にエアコンを設置・更新、令和元年度には、幼稚園遊戯室へエアコンを設置してまいりました。令和2年度は、GIGAスクール構想に基づき、学習ツールの利用等ICTを十分に活用できる学習環境を整えるため、全学年の児童・生徒に一人1台のコンピューター端末を整備、活用できるネットワーク環境の構築を行いました。安全・安心な学習環境が確保されております。令和3年度には、小・中学校屋内運動場へ空調設備を新設整備、小学校のトイレについて、洋式化や多目的トイレの設置など安全・安心な学習環境が確保されております。

## (2) 社会教育

新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度の社会教育にも大きな影響を与えました。昨年度に続き、普通に活動できたり、使用できていたものが、活動や利用の制限がかかることによってまったく異なった環境になってしまいました。しかしながら、町民の方々のご理解とご協力のおかげで、徐々にではありますが、普段の社会教育環境に、また工夫や協力をしながら、新たな社会教育環境を形成しています。

町民のニーズに応じた各種講座を開設しており、多くの町民が文化活動を通して生きる喜びを感じ、自己実現を図っています。今後も、企画運営を受講者自身が行う講座となるよう、一層の充実に努めます。



岡山県が制定した11月1日の「教育の日」に関連し、「里庄町教育を考えるつどい」小学校入学前の就学時健診時と中学校入学前の入学説明会の際に行う子育て講座や、保護者同士が共通の悩みをお互い考える、議論し合う講座など、家庭教育についての研修を行う機会については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、開催を中止したり、内容を変更して行いました。

平成28年度から始めた、学校の授業だけでなく、子どもたちが自ら学び体験することで生きる力を育み、地域全体で子どもを育てていく事を目的とする「さとしょう未来塾」事業も6年目となりました。自学自習を基本とした学習に取り組む「里ちゃん寺子屋」と体験を通じて子どもたちが「生きる力」を身につける「里ちゃんチャレンジ・ワールド」の2本の柱で、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施し、地元地域の方々や、文化協会の方々、虚空蔵大学生などの協力を得ながら、地域の子どもは地域で育てることをコンセプトに取り組みました。子どもたちが地元の歴史をあらためて見直し体験する機会や、笠岡市白石島や北木島の自然を活用した体験活動、地元の特産品「まこもたけ」の葉を利用したしめ縄作り、手話講座など、子どもたちが普段経験できない事業になるように検討・工夫を行いました。(※資料6)

町立図書館は、順調に蔵書数を増やし、令和3年度末に15万8千冊余りになるとともに、町民に親しまれる図書館を目指しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度3度にわたり、貸し出し・返却業務のみの利用制限を実施し、通常の業務を実施する日数が減少しました。令和3年度の開館日数は276日(通常開館195日・臨時休館81日)来館者は4万2千人余りとなり、3年連続で減少しました。貸出冊数は、約1万3千人の方に約5万7千点を貸出しておりますが、こちらも3年連続で減少しました。本年度、図書館を利用される方が、コロナ禍においても、安全かつ安心して施設を利用していただけられるように、書籍除菌機の設置、テーブルへの飛沫防止用衝立の設置、空気清浄機の配置など、感染症対策を行っております。県立図書館や高梁川流域7市3町の図書館相互利用等、生涯学習の拠点施設として、町内外から好評をいただけるように努力してまいります。子どもたちが喜んで、本と親しめる環境づくりと、乳幼児と親子が安心して利用できる場所「おはなしの部屋」では、親子が読みたい本を自由に手にして読むことや、読み聞かせることで、読書の習慣づけができる環境が定着しており大変好評をいただいております。また、佐藤清明資料保存会の活動拠点(事務局)となっており、年間を通して「清明研究会」や「清明を読む会」などの活動に取り組んでいます。毎年図書館で開催している「里庄のせいめいさん」展も、多くのお客様に好評をいただいております。

男女共同参画社会の推進等、人権意識の高揚に関する講座や行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りには実施できませんでしたが、7月29日に人権教育講座を、保育園・幼稚園・小学校・中学校教員やPTA会員の方々を対象に実施、「インターネットと子ども」と題して、研修を実施しました。今後も事業の改善等を進めながら、状況の変化に適切に対応していく予定です。

文化の振興に関しては、総合文化ホール「フロイデ」や福社会館、中央公民館などを有

効に活用し、町民自らの活力や、行政と町民との協働によって、得られるエネルギーを生かしながら、町民のニーズと本町の実情に合った事業を展開してきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設は5月14日～6月20日・8月27日～9月12日・1月11日～3月6日までの3度にわたり閉館を余儀なくされましたが、その度に、町民の方々が感染症対策を講じられ、協力をしながら、無事に運営できております。文化ホール事業では、夏休み子ども劇場や高梁川流域高等学校音楽会など予定していた自主事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となりました。その状況下において、お客様の感染症対策のご理解とご協力により、陸上自衛隊第13音楽隊「ハートフルコンサート in 里庄」を開催することができ、音楽の素晴らしさを実感することができました。今回もお客様に抽選の形でご参加いただきましたが、コロナが収束した時には、幅広く町民の参加が得られ多くの成果をあげられるように努力してまいります。引き続き、施設の老朽化や新型コロナウイルス感染症対策における収容人員など、課題もあり一層の改善、充実に努める必要があります。

歴史民俗資料館では、「里見山中遺跡」展示コーナーが完成し、今後も遺跡等の展示物は増加の傾向にあります。仁科・小川両博士関係の遺品や、大原焼、麦稈真田関係の物、一般民具や昔から伝わっている農機具などの展示公開も行っており、今後、文化財保護委員と学芸員が連携して、館内収納物の整理や、開館日の変更や周知方法について検討してまいります。

文化財保護委員会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定・解除、保存及び活用に関し必要な事項を調査・研究し、教育委員会に答申しています。本年度も、里庄町指定文化財周知のため、お客様がより理解できる看板の内容検討を行い、作成を依頼しました。

また、2月には、子どもたちが作成した「大原焼」の展示を歴史民俗資料館で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に会場を図書館に変更して、展示会を行い、「大原焼き」の素晴らしさと、子どもたちが熱心に作った作品を、お客様に、知っていただきました。今後も町内だけではなく町外の文化財研究にも力を注ぎ、保護委員会や学芸員と共に研修を行ってまいります。

スポーツの振興については、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きいものであったと実感した年となりました。「つばきの丘運動公園」多目的グラウンドをはじめ、野球場、テニス場などのスポーツ施設や学校施設は、年度内に3回利用を制限したため、今まで活用されていた、多くの町民の方々がスポーツを楽しみながら健康の増進を図る場所が無くなった状況にもなりました。利用制限が解除となっても、グラウンドゴルフやソフトバレーボールなどのニュースポーツの普及促進のための大会は中止を余儀なくされました。スポーツ協会主催の大会も、町民ゴルフコンペ以外の大会は中止となり、大会を通して町民の方とスポーツで盛り上げることはできませんでした。

青少年を対象にしたスポーツでは、小・中学生対象の柔道・剣道スポーツ教室、少年野球クラブ、里庄FCなども練習場所の使用制限や、各種大会が中止となり、練習の工夫や、里庄町での大会内容を縮小して開催している現状があります。

厚生体育大会、体力づくりふれあいマラソン大会も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、参加を楽しみにされていた町民の方々にとって残念な結果となりました。里庄町チームとして参加した「晴れの国岡山」駅伝競走大会も中止となり、関係者の方を

「町民一人一スポーツ」の目標達成を掲げ、誰でも・どこでも・いつでもスポーツが、できる環境を整備し、健康づくり・生きがいつくり・地域の絆づくりなどに、スポーツが利用されることを願っています。また、そのためにも、新型コロナウイルス感染症の早期収束と、感染症対策の徹底、ウィズコロナでの大会運営方法の研究を行う必要があると考えます。

#### IV 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項に基づき、元おかやま山陽高校教諭 宮崎勇次 氏に点検及び評価に関する助言及び意見をいただきました。

里庄町教育行政については、それぞれの立場で、その特色を活かした教育行政が行われており、概ね安定的で良好な運営がなされていると考えています。今後は、時代の変化により、少子高齢化、社会情勢の変化、デジタル化への対応など、学校経営や教育行政全般について、しっかりとした点検が必要と考えています。

学校教育については、幼稚園・小学校・中学校全体において、落ち着いた状況の中で、学力向上（ハード面・ソフト面）や心の教育に取り組んでいます。かけがえのない園児・児童・生徒の将来を見据え、一人ひとりが自覚を持ち、自主的に行動ができ、自分の周囲の人や命を大切にする、思いやりのある人に成長するように、導いていただきたい。また、家庭教育の大切さを徹底し、充実させていただきたい。

生涯学習については、町民一人ひとりが楽しく参加でき、勉強になったり、人との絆をもち、ふれあいのよさを感じ取れるようになれば幸いです。これらの学習が、生きがいや健康づくり、地域づくりに直結すると考えられます。今後も、常に工夫を重ねながら取り組んでいただきたい。

教育委員会体制については、多様な要望や意見などに適切に対応しながら、効果的な教育行政の実現に向けた一層の努力が求められています。今後も課題、要望、意見などに対して、より望ましい改善に努め、教育行政に反映していただきたい。

里庄町社会教育委員に点検及び評価に関する助言及び意見をいただきました。

人間関係の希薄化と孤立化が進んでいる気持ちがします。コロナ以後、諸行事の中止をはじめ、人が集うことが難しくなっている中で、教育行政というよりも、広くまち作りの視点から見た、行政の関わりが大きく期待されている。

地域共同体の中で、各種団体・分館を越えての領域で、ハード・ソフト両面での取り組みが欠かせない状況の中で、ソフト面においては、各地域やお世話をされている方々のご尽力により、概ねうまくいっているように思っている。しかしながら、ハード面では、施設の老朽化に伴い、使用しにくい施設もあるため、今後の改善が望まれます。

学校のPTA活動について、今まで強制だったものを、全会員から希望者を募ったり「その行事は必要なものなのかどうか」話し合っただけで決定をするなど、今までのやり方を見直しながら、保護者の方のご協力を得ながら行っています。

コロナに感染された児童・生徒さんの対応について、学校に行けない時の学習についてタブレット端末の有効利用を望んでいます。例えば、授業風景がタブレット端末で見ることができるだけでも、利用している価値は違ってくると思っています。

昨年度と比較し、各種団体が新型コロナウイルスの感染対策について、今までの経験を生かした対策を行っていると思う。

コロナの影響により、様々な活動について中止や変更をせざるを得ない状況の中で、できること、感染症対策を徹底し、工夫して行うことができたことは、よかったと思います。コロナ禍での様々な取り組みが、町民の方々の生きがいや健康づくりにつながっているとしますので、感染状況を踏まえながら、できるものは可能な限り実施したいと考えています。

学校現場や社会教育現場が、見直しや工夫をしながら活動してきたことは、評価したいと考えております。気になることがあります。子どもたちの視力低下の問題です。タブレット端末やパソコンを見る機会が多いなかで、眼鏡をかけられている子どもさんの姿をよく見かけます。教育委員会として、学校での授業や私生活の面で、どの様に先生方と問題共有をされているのか。目に関するアンケートを取ったりされているか。今後取り組んでいく必要があると思います。

## V 終わりに

令和3年度の本町教育委員会事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し学識経験者及び社会教育委員の助言及び意見などをいただき報告いたしました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の渦中において、実質2年目の年となりました。その影響は私たちが想像していた以上のものであり、今までの常識が通用しない時期が来ていることを認識しております。しかしながら、短いながらも培ってきた経験を生かせる年でもありました。今後も感染症対策を講じながら、新型コロナウイルス感染症との共存や、新しい生活様式の実効性が必要不可欠となっています。

その中で、今後も教育委員自らが点検及び評価をし、教育委員会を充実させ、教育委員会が町民にとって身近になるよう努力し、町民に支えられた、町民のための教育行政が展開できる教育委員会になるよう、引き続き努力したいと考えております。

# 資料

資料 1

令和3年度教育委員会会議

(1) 定例会

|           |          |           |           |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 4月23日(金)  | 5月25日(火) | 6月22日(火)  | 7月28日(水)  |
| 8月25日(水)  | 9月28日(火) | 10月28日(木) | 11月22日(月) |
| 12月23日(木) | 1月25日(火) | 2月22日(火)  | 3月11日(金)  |

(2) 臨時会

|         |          |          |          |
|---------|----------|----------|----------|
| 4月2日(金) | 5月12日(水) | 7月13日(火) | 10月1日(金) |
|---------|----------|----------|----------|

資料 2

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったもの

- ※ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会
- ※ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会
- ※ 里庄町教育委員会県外視察研修

## 資料 3

教育委員が出席及び出席を取り止めた行事等

|                   |                                       |
|-------------------|---------------------------------------|
| 令和3年4月1日(木)       | 新任教職員着任式 (中止)                         |
| 令和3年5月2日(日)       | 令和3年成人式記念式典 (中止)                      |
| 令和3年5月 日( )       | 教育委員学校訪問 (中止)                         |
| 令和3年6月9日(水)       | 小川賞授与式                                |
| 令和3年8月15日(日)      | 平和記念式典・戦没者盆供養 (出席取り止め)                |
| 令和3年8月21日(土)      | 理化学研究所里庄セミナー (中止)                     |
| 令和3年8月29日(日)      | 仁科芳雄博士顕彰 ロボット・コンテスト2021 (中止)          |
| 令和3年9月26日(日)      | 第69回厚生体育大会 (中止)                       |
| 令和3年9月29日(水)      | 東幼稚園運動会 (出席取り止め)                      |
| 令和3年9月30日(木)      | 西幼稚園運動会 (出席取り止め)                      |
| 令和3年10月15日(金)     | 中学校運動会 (出席取り止め)                       |
| 令和3年10月26日(火)     | 西小運動会 (出席取り止め)                        |
| 令和3年10月30日(土)     | 青少年健全育成「未来の会」総会・第21回里庄町教育を考えるつどい (中止) |
| 令和3年11月5日(金)      | 東小運動会 (出席取り止め)                        |
| 令和3年11月6日(土)      | 1日学校公開 (中止)                           |
| 令和3年11月17日(水)     | 西小学習発表会 (出席取り止め)                      |
| 令和3年12月6日(月)      | 仁科賞授与式                                |
| 令和3年12月9.10日(月・火) | 東幼生活発表会 (出席取り止め)                      |
| 令和3年12月9.10日(月・火) | 西幼生活発表会 (出席取り止め)                      |
| 令和3年12月 日( )      | 仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会 (中止)                 |
| 令和4年1月9日(日)       | 令和4年成人式記念式典                           |
| 令和4年2月4日(金)       | 第54回里庄町立志式 (中止→代替記念講演会)               |
| 令和4年2月22日(火)      | 東小学習発表会 (出席取り止め)                      |

※ 幼稚園・小学校・中学校 入学式・卒業式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各学校園とも来賓の出席を取り止めとした。





## 豊かでたくましい里見っ子の育成をめざして

里庄東小学校・東幼稚園長 松原 修

里庄東小学校は、本年度全児童292名、全14学級でスタートしました。落ち着いた学習環境と学習集団を基盤とし、学校目標の具現化に向かって教育を進めています。

具体的には「よく学ぶ子」「くじけない子」「おもいやる子」「おもしろい子」をめざす児童像とし、明るく前向きでやる気に満ちた児童が集う学校をめざしています。重点的な取組は次の通りです。

- (1) よく学ぶ子
  - 主体的学習意欲を高める。 ○基礎学力の定着を図る。
  - 表現力の向上を図る。
- (2) くじけない子
  - 自ら進んで体力向上や健康増進を図ろうとする態度を養う。
  - 目標をもち、最後までやり抜こうとする態度を養う。
- (3) おもしろい子
  - 自己肯定感を高める。
  - 他の人を大切にすることを心掛ける児童及び集団に高める。



幼稚園イモの苗植え

タブレット端末で学ぶ子どもたち

東幼稚園は、年少りす組・年長くま組合わせて41名です。主体的に遊ぶことを通して、「元気な子」「やさしい子」「がんばる子」「考える子」を育てていきます。幼稚園・小学校ともに、保護者や地域の皆様の温かいご支援と見守りをいただきながら、「心豊かでたくましい里見っ子」の育成と、安全・安心で信頼される学校の創造を目指します。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 里西っ子の「生きる力」を育てる

里庄西小学校・西幼稚園長 柚木 康男

本年度、里庄西小学校は全校児童378人、全16学級でスタートしました。「切磋琢磨」の校訓と教育目標「里西っ子の生きる力を育てる」のもと、「めざす子ども像」の「よく考え進んで学ぶ子ども」「仲良く助け合う子ども」「明るく元気な子ども」の3つを目指します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行い、子どもたちのよさや頑張りを確かに認め、自己肯定感を育む教育を進めます。重点としている具体的な取組は次の通りです。

- (1) よく考え進んで学ぶ子ども (知)
  - 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じる授業ある授業づくり
  - 基礎・基本の徹底 ○伝え合う活動の充実で表現力を育成
  - 学習規律の徹底 ○意欲的に進める家庭学習の充実
- (2) 仲良く助け合う子ども (徳)
  - 認め伸ばし自己肯定感を育む学習指導・学校行事
  - 人・時間・協働を大切にしている生徒指導 ○道徳指導の充実
- (3) 明るく元気な子ども (体)
  - 体力づくりの推進と健康安全の強化 ○基本的な生活習慣の確立
  - 食育の推進

西幼稚園は、年少りす組・年長くま組合わせて園児数33名でスタートしました。小学校と一貫した教育目標を設定し、遊びを通して「意欲をもってがんばる子」「思いやりのある子」「元気な子」を育てます。本年度も、保護者、地域、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、心豊かで、たくましい里西っ子を育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



タブレットを使った授業



幼稚園ひまわりの種まき

## スマートフォン・ゲームの適切な利用についてのお願い

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間する中で、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少も指摘されています。里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。

ルール作りは保護者の責任です。その責任を果たすことが、子どもを守ることに繋がります。保護者の責務として、家庭内のルール作りをお願いいたします。ご家庭で、お子様としっかり話し合っ、子どもも納得するルール作りを進めてください。

※各家庭での徹底をお願いいたします。 指導主事 天野 正彦

## 教育相談日のお知らせ



日時 毎週 月曜日・火曜日・水曜日  
午前9:00~12:00 午後1:00~5:00  
場所 「里庄むつみ会館」(里庄町大字里見1004番地)

お子様の学習や発達障害等について、相談を希望される方は、教育委員会事務局 ☎(0866) 64-7212 までご連絡をお願いいたします。(ご希望日時が重なった場合、調整させていただきます。)

担当者 教育相談員 栗尾康子

## 自ら学ぶ生徒の育成を目指して

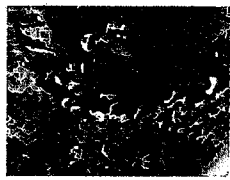
里庄中学校長 池田敬治

令和3年度は、1年生92名、2年生103名、3年生100名の計295名、11学級でスタートしています。昨年度に引き続き、コロナ禍の中ではありますが、生徒たちは現況の中で精一杯、できることにチャレンジし、元気に学校生活を送っています。

学校教育目標「心豊かに自ら学ぶ生徒の育成」のもと、主体的・対話的で深い学びを推進する「魅力ある授業づくり」、生徒の非認知能力の向上を目指すことによる「自己肯定感を高める集団づくり」、ホームペーajなどの情報発信による「家庭・地域との連携強化」を目指します。

また、文部科学省が示すGIGAスクール構想を受け、里庄町でも1人1台のタブレット端末の使用が始まっています。活用場面を少しずつ増やしながら、新しい時代に向けた生徒が備えるべき資質や能力の育成につなげていきたいと思っています。

本年度も、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、伝統ある里庄中学校を発展させていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



1年生福山研修



タブレットを使った授業

# 里ちゃんだより

里庄町教育委員会 電話 0865-64-7212

## 教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

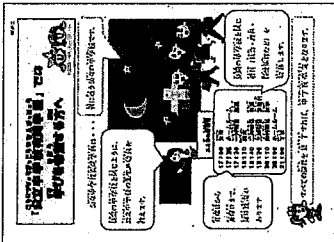
町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になって心より感謝申し上げます。社会教育の推進及び体育施設の使用につきましては、新型コロナウイルス感染症防止対策にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。現在は、感染症防止対策をしていただきながら、施設利用や活動を再開しております。皆様の生き生きとした活動の様子を拝見し、生涯学習の大切さを痛感しているところです。

また、各幼稚園、小学校、中学校におきましても、昨年度に続いて感染症対策として、学習指導の方法や行事等の内容変更をし、教育活動を行っております。現在は、感染が収まりつつある状況ですが、今後の第6波の到来も想定しながら様々な活動を行っております。子どもたちは元気に通っております。これもひとえに学校の取り組みに対しまして、家庭、地域の皆様のご理解とご協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

今後とも皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 「公立中学校夜間学級」のニーズへの対応・相談窓口について

岡山県教育委員会は、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校のためにほとんど学校に通えなかった人、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などに学ぶ機会を提供する「公立中学校夜間学級」の設置に向けた検討を始めてまいりました。そこで、町教育委員会では、「公立中学校夜間学級」での学び直しを希望する人の個別の状況を把握するための窓口を設置し、相談を受け付けています。



窓口：里庄町教育委員会

対応時間：8:30～17:15（月曜～金曜）

対象：①満16才以上で、中学校を卒業していない人

②中学校での教育をほとんど受けられなかった人

※どちらも外国籍の人でも対象です。

問い合わせ先：里庄町教育委員会 ☎64-7212

チラシは教育委員会窓口、東・西・中央公民館の窓口にあります。

# コミュニティスクールがはじまりました

コミュニティ・スクールとは

学校・家庭・地域の三者が集まり、知恵を出し合う「話し合いの場」を設定し、学校運営について協議、承認を行う「学校運営協議会」が設置された学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます。

様々な教育課題の克服、予測不可能なこれからの時代を生き抜くためには、これまで以上に地域や保護者が学校に参画し、三者が協力することが求められます。地域や学校の課題に対して三者が連携、協働しながら当事者意識をもってかかわることで、子どもの「生きる力」を育むことにつながります。

コミュニティ・スクールで何が変わるの？

### ○子どもにとって

- ・子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- ・人、もの、自分を大切にすることが育ちます。
- ・防犯・防災の対策によって安全・安心な生活ができます。

### ○地域の人々にとって

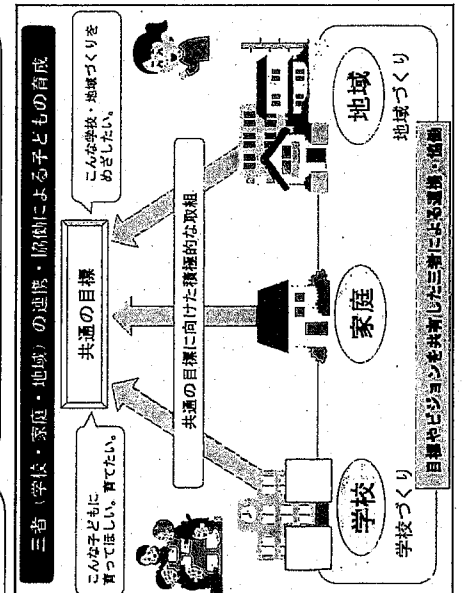
- ・個々の経験を活かすことで生きがいにつながります。
- ・学校が地域のよりどころとなります。
- ・地域が活性化し、防犯・防災体制が整い、安全・安心な生活ができます。

### ○保護者にとって

- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域に子どもが育てられているという安心感があります。
- ・保護者同士や地域の人々の人間関係の構築ができます。

### ○学校にとって

- ・地域の理解を得た学校運営の実現が可能となります。
- ・地域資源を活用した教育活動が充実します。
- ・地域との協働により、子どもと向き合う時間が確保できます。





# 里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-647212

## 「町民の皆様、本当にお世話になっております」

日頃から町民の皆様には、教育行政の推進にあたり、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。本年度も、新型コロナウイルス感染症のまん延がみられ、様々な事業を変更したり中止したりすることが多くなりました。そのような中で、町民の皆様方に、温かいご支援・ご協力をいただき、子どもたちの健全育成を進めてまいりました。これからも、学校と家庭・地域の連携を大切に、教育行政を進めていきたいと考えております。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策をしていただきながら、太陽の強い日差しが照りつける中、また、雪が舞う中、各地域で子どもたちの登下校に合わせて、防犯・安全活動を実施していただきました。「子ども安全パトロール員」の方々の積極的な見守りや声かけにより、子どもたちの安心・安全な登下校が保たれています。本当にありがとうございます。

6年目を迎えた「さとしよ未来塾」につきましても、予定通りの事業を行えないことが多く、残念でした。しかし、子どもたちの体験学習の場を増やそうと、新型コロナウイルス感染症のまん延の状況をみながら、冒険DAYキャンプを白石島・北木島で行うことができました。当日は、予想を上回る参加者があり、子どもたちの元気な声と笑顔があふれる、有意義な活動を行うことができました。

今後、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、事業を推進することとなりますが、地域の皆様をはじめ、各種団体や町内企業の方々に、積極的に講師やボランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をお願いしたいと考えております。

引き続き、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、学校・家庭・地域との連携を深めていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。  
(文責：事務局長 小寺 大輔)

## スマートフォン・ゲームの適切な利用について

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としております。特に、スマートフォンやゲームを持ち始める時に、ルールを守れる環境をつくった上で、使うことが大切になります。お子様を持ち始める時に、親子で話し合い、ペアレンタルコントロール（利用時間制限、アプリの制限等）を活用して、親子でしっかり話し合ってお話していただくことを進め、安全・安心に日々が送れますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※裏面に関連記事があります。  
(教育長 杉本 秀樹)

## 里庄町「生きる力」向上プロジェクト

### “さとしよ未来塾”里ちゃんチャレンジ・ワールド

里庄町教育委員会では体験活動を通して、子どもたちに「生きる力」を養う活動を地域の方々のご支援をいただき、里ちゃんチャレンジワールドとして行っています。

「冒険DAYキャンプ2021 in 白石島・北木島」～小学校最後の夏、思い出をみんなで作る！～  
7月30日、里庄東・西小学校6年生55名が笠岡諸島白石島・北木島で行った冒険DAYキャンプに参加しました。白石島でシーカヤックを体験し、北木島では日本遺産構成文化財の「石切りの深谷」(探石場)などを巡りました。大変暑い日でしたが、参加した子どもたちは目を輝かせ、小学生最後の夏の思い出をつくりました。



シーカヤック(白石島)



石切りの深谷(北木島)

「大原焼に挑戦」～大原焼の語・美技を通して、ふるさとの素晴らしさを知ろう～  
10月31日、11月27日の2日間、17名の子どもたちが、大原焼プロジェクトの方々に指導していただき、大原焼体験をしました。今年は、「コロナや心の鬼を追い払おう！」をテーマに、「鬼」のお面作りに取り組みました。お面には子どもたちの「コロナがおさまるように」「健康ですごせるように」など、様々な願いが込められていて、思い思いの鬼を表現しようと一生懸命制作しました。



大原焼の歴史について講義



お面作り(成型)



出来上がった「鬼のお面」

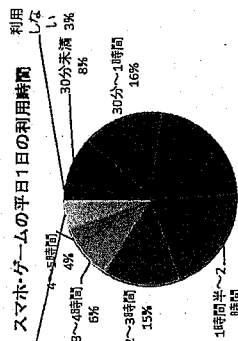
(文責：峰谷 真治、小椋 美紀)

## 里庄町の子どもの様子 (スマートフォン・ゲームの実態調査より)

里庄町教育委員会は、毎年、スマートフォン・ゲームの使い方についてのアンケートを実施しています。今年度は12月に、小学4年生から中学3年生までの子どもたちに実態調査を行いました。その結果から気になる質問項目について紹介します。

子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。子どもが一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組ましましょう。ご家庭で、お子様としっかり話し合っ、子どもも納得するルール作りを進めてください。  
(文責：天野 正彦)

### 小学校 (4年生～6年生)



2時間以上利用している子どもが約3割

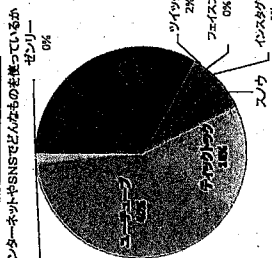
### 小学校 (4年生～6年生)

普段インターネットやSNSを使っているか



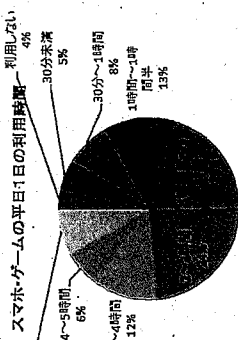
普段インターネットやSNSを利用している子どもが約6割

### 小学校 (4年生～6年生)



子どもたちは、多種多様な使い方をしています。それぞれどんなアプリかご存じですか？

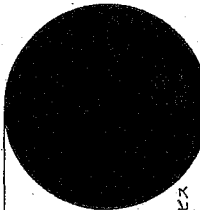
### 中学校 (1年生～3年生)



2時間以上利用している子どもが約5割

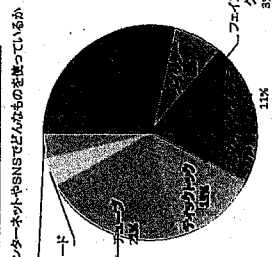
### 中学校 (1年生～3年生)

普段インターネットやSNSを使っているか



普段インターネットやSNSを利用している子どもがほぼ10割

### 中学校 (1年生～3年生)



## 令和4年成人式 ～新成人の輝かしい未来を祈って～



町民憲章を黙読する様子



成人式で謝辞を述べる様子

里庄町では、これからの里庄町を担う新成人が、晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、また、成人としての責任や義務を自覚する機会となるよう、成人式を実施しています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年は1月9日(日)に実施され、76名の新成人が参加しました。

式典は、新型コロナウイルス感染症対策として、歌や町民憲章の唱和を中止し、席の間隔を広く空けて行われました。新成人代表者は「生活様式が、日々激変する中でも、私たちは、自分の進む道に希望や夢を持って、これからも進んでいきます」と決意を述べました。

式典終了後に、行われた恩師ビデオレターの上映では、当時の小中学校の先生方からお祝いのメッセージと、当時の体育会や修学旅行などの映像が放映され、懐かしい顔や出来事に歓声があがり、笑顔あふれるひとときとなりました。

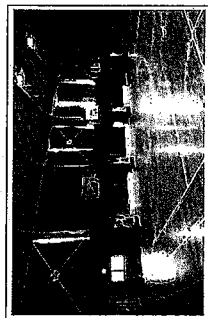
里庄町並びに教育委員会は、新成人の皆様のご健勝と、いっそうのご活躍をお祈り申し上げます。

(文責：吉川 大和)

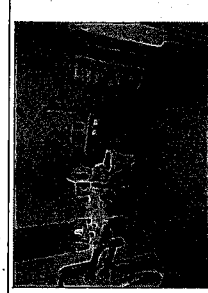
## 学校教育施設の衛生環境を改善するために

学校施設は児童生徒等の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として、地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものです。日常のみならず災害時においても、十分な機能性を有することが求められます。教育委員会では、新型コロナウイルス感染症対策として、有事の際に避難所として開放する公立の小・中学校の屋内運動場へ、密を回避し窓を開けて換気しながらでも、十分な空調機能確保するための冷暖房設備を完備しました。また、西小学校では校内トイレの一部を、より感染リスクの低い洋式・乾式への改修を進めました。さらに、学校における多目的トイレを新設するなど、ウイルスからの感染リスクの軽減を図り、子どもたちが安全で安心して学校での生活を過ごすことができるように、引き続き教育施設における環境の改善に努めて参ります。

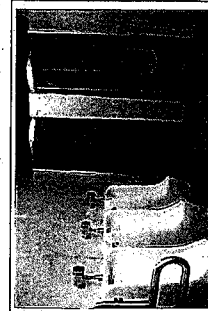
(文責：淡路 尚久)



屋内運動場冷暖房設備



西小学校多目的トイレ新設



西小学校児童専用トイレ改修

## 資料 5

### 里庄町教育委員会の重点施策

#### ○ 学校教育の安定と充実

##### 1. 落ち着いた集団づくり

- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 生活規律、学習規律の徹底（あいさつ、そうじ、はきもの、話の聴き方）
- ・ ハイパーQ U検査（小1から中3まで年2回の実施）
- ・ 生活支援員の配置（幼小中で25名）
- ・ 教育相談員の配置
- ・ 家庭との連携（里ちゃんだよりの発行、親学研修、教育講演会）

##### 2. 確かな学力をつける

- ・ 1時間1時間の授業を大切にする（授業改善の推進）
- ・ 全国及び県学力調査の有効活用
- ・ 小中連携の取り組み

##### ※里庄町の学力向上の重点目標

小中連携による落ち着いた学習環境づくりと学習意欲を高める  
ための授業改善

①基礎・基本の徹底

②言語活動の充実による表現力の育成

（論理的に書く力・コミュニケーション力）

③家庭学習の充実（復習、予習を意識して、手引きの活用、生活時間調査）

※相互授業参観、出前授業、体験授業の実施、合同研修会（幼稚園含む）

- ・ 反復学習と補充学習

※朝の学習、帰りの会、サマースクールの実施

##### 3. 豊かな心、豊かな人間性の育成

- ・ 人権教育、道徳教育の推進
- ・ 家庭・地域との連携、ふるさと里庄町への郷土愛を育てる。

立志式、二分の一成人式の取り組み、里庄まこもたけの学習、地域の偉人の学習

- ・ 食堂給食の推進と活用

○ 社会教育の充実

- ・ さとしょう未来塾（里ちゃん寺子屋、里庄チャレンジ・ワールド）を開設  
※暁天座禅、地元企業や国際交流協会との共催事業、陶芸教室、科学教室  
歴史や福祉活動の勉強や体験、地域の方々との共催事業等)
- ・ 子どもに豊かな心や科学的素養が育つ環境や機会を提供  
※仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会、柔道・剣道スポーツ教室、野球  
サッカーなど、スポーツ少年団、立志式 等

○ 家庭教育の充実

- ・ 小学校就学時健康診断や中学校入学説明会時に、子育て講座（親育ちの研修）  
を開催
- ・ 保護者同士が、子育てに共通する悩みを共に考える講座（子育て未来塾）を  
を開催
- ・ 家庭と地域と学校が連携し、子どもを育てることについて考える「里庄町教育  
を考えるつどい」を開催
- ・ 町内の学校、園の様子を広く知ってもらうため「1日学校公開」を開催



資料 6

さとしょう未来塾

○ 里ちゃん寺子屋事業 参加人数

|         |        |         |         |
|---------|--------|---------|---------|
| 7月 15人  | 8月 14人 | 10月 12人 | 11月 12人 |
| 12月 11人 |        |         |         |

※9月は開催なし、1月から3月まで新型コロナウイルス感染症の影響で開催なし。

参加者 小学校4年生から6年生及び中学1年生 15人

指導ボランティア 10人（町内一般成人のみ）

1回あたり平均参加者 約13人

※ 中学校定期考査中に、中学生を対象とした寺子屋事業を開催

○ 里ちゃんチャレンジ・ワールド 参加人数（指導者等を含む・複数回数実施は延べ人数）

囲碁教室 25人

暁天座禅 新型コロナウイルス感染症のため中止

冒険DAYキャンプ 65人

福祉教室 5人

歴史教室 11人

科学教室 新型コロナウイルス感染症のため中止

ハロウィンフォトコンテスト 76人

大原焼教室1 24人

大原焼教室2 23人

まこもしめ縄づくり 49人

ロゲイニング 新型コロナウイルス感染症のため中止